



月刊 千葉動力労働

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)
電話 (鉄) 千葉 2935・2936 番
(公) 043 (222) 7207 番

No. 94.6.21 4012

朝鮮侵略阻止 豪雨突き2100名が結集 反戦反核が爆発!



六・一九「朝鮮侵略戦争絶対阻止」全国反戦集会は、折からの豪雨を突いて、全国から二一〇〇名が結集、「朝鮮侵略阻止」「朝鮮人民を見殺しにするな」「経済制裁絶対反対」のものすごい決意と気迫がみなぎる集会とデモとしてかちとられた。動労千葉から六十名を超える組合員が明けや公休を返上し、ズブヌレになりながらも最後までたたかいを貫徹した。

集会冒頭、司会の江渡さんが「公園入り口で中年男性が、がんばってと一万円カンパしてくれました。職場や街頭で、いままでとは全く違う支援と期待を感じる。我々がこころ一番頑張れた。」「**カギは労働者が握る**」

叩きつづける。決意と確信固めた六・一九

「戦争は労働運動を徹底的に叩きつづし、労働者人民を戦争協力者に仕立てあげることによってしか進めることが出来ない。連合支配を根幹から揺るがして前進する動労千葉や国労闘争団、三里塚そして全国連の存在とたたかい、こうしたたたかいはあるかぎり戦争体制が一朝一夕でくられてしまうなどということはない。決意固めねばり強くなたかおう。今がもっとも大事なとき。」という訴えに全が確信を打ち固めた。



戦争的にならねえぞ、女共産党は先頭担う

全体は、六・一九闘争を新たな反戦闘争の一步として、ただちに次のたたかい―七月行動をやりきりながら八・六広島、八・九長崎、反戦・反核闘争に取り組むことを誓い終った。

在日朝鮮人への弾圧・襲撃を断じて許すな。

北朝鮮に対する「核疑惑」、排外主義キャンペーンが連日行なわれ、日米の侵略戦争情勢が切迫するなかで、在日朝鮮人にたいする弾圧と襲撃が日増しに激化している。(内容は日刊で既報)

集会ではこうした権力の弾圧と排外主義的襲撃を断じて許さず、日本の労働者・人民の責任にかけて、在日朝鮮人支援・防衛に立ち上ることを満場一致決した。

「他民族を抑圧する民族に自由はない」、労働者のとるべき唯一の立場は「万国の労働者よ団結せよ」である。

朝鮮・在日朝鮮人の心底からの訴えと決起に応え朝鮮侵略戦争阻止、有事体制と核武装に向かう羽田―小沢政権打倒に総力で立ち上ることを決議し、戦闘的デモをうちぬいた。

八・六広島、八・九長崎 反戦・反核へ。

われわれ動労千葉は、自らの位置と果たしている役割の大きさをしっかりと確認し、たたかう総ての人々としつきりと手を握り、がんばろう◆このことを胸に帰路についた。